

連合町内会活動報告

会長 京野 進

平成22年5月に新体制で活動を始めてからもう年度の半分が過ぎました。

上半期の連合町内会最大の行事「御所野夏まつり」は、住民の皆様のご支援を受け、盛会裏に終えることが出来たことを、篤くお礼申し上げます。

下半期の活動状況について報告いたします。

10月、御所野地区クリーン&グリーン活動(イオンモール秋田主催)に75名の住民が参加し、約1時間地区内道路等の清掃活動を行いました。ロックパトロール(鍵かけの励行を呼びかけ、施錠率の向上により犯罪の防止を図ることが目的)が秋田市東防犯協会等の主催で、下提地内を対象に実施され、会長が「鍵かけ防犯の町」を宣言。

現在取り組んでおります活動は、「災害時の情報連絡体制と自助、互助について」「地域要望について」の2課題を検討中です。また連合町内会・地区社協・民児協の連携(社協主管)で、「安心キット(救急医療情報キット)」の展開を進めております。

皆様のご協力をお願いいたします。

「もしも・・・」に備えて「安心キット」を

「安心キット」をご存知でしょうか。高齢者や一人暮らしの方が、突然具合が悪くなり倒れたら大変なことです。その「もしも」の時に大きな力になるすぐれ物が「安心キット」(救急医療情報キット)です。

キットは直径6cm、高さ約21cmの円筒形の保管容器と中に入れる「安心カード」、その所在を示す2枚のステッカーで構成されています。

「安心カード」は、名前や生年月日、かかりつけの病院名や健康保険番号などの医療情報、家族や親類などの緊急連絡先を記入し、緊急時に本人が会話できない状態でも救急活動が迅速にできるようにするためのものです。

この「安心キット」の配布の対象者は、

- ① 75歳以上の一人暮らし
- ② 80歳以上の方だけの世帯
- ③ その他必要と認められる方です。

今後御所野では、この「安心キット」を地区社会福祉協議会、連合町内会、民生児童委員協議会の三者が連携して、地区内の希望をとり無料配布することになっています。

地区社協 会長 川村 記

弥生っこ村まつりに

参加して

副会長 相澤 喜夫

10月9日(土) 御所野地蔵田遺跡で第六回弥生っこ村まつりが開催されました。生憎のお天気でしたが、大勢の方々に集まっていたいただき盛大に行われました。

秋田市教育委員会文化振興室、弥生っこ村民会、小阿地・末戸松本町内会、御所野連合町内会、JA新あきた四ツ小屋支部の皆さん方により、楽しい企画が一杯。弥生人に扮する鈴木弥生っこ村長さんによる儀式をはじめ、大型火起こしを五人掛りで軸棒を回転させ摩擦熱で火を点火。体験コーナーでは餅つき、勾玉作り、アケビ細工、遺跡案内や土器展示、フリーマーケットも出店。古代米のお餅をつくった美味しい雑煮も振るまわれました。

連合町内会からは実行委員として四名が参加し、玉こんにやく作りやポップコーン作りをお手伝い。楽しい時間を過ごすことができました。

地蔵田遺跡は、昭和60年に発掘調査された旧石器、縄文、弥生時代の複合遺跡です。木柵で囲まれた弥生時代前期の集落跡が日本で初めて発見され、平成8年に国の史跡に指定されました。



大型火おこし。摩擦熱で点火させます。



弥生っこ村長さんによる儀式

「アップル・オブ・マイ・アイ」

元町二丁目町内会

会長 原田 吉清

古代ヨーロッパの伝説では、リングはハシバミやオークと共に魔法の果実・神木と定められていました。そして愛と恋の成就のシンボルともいわれていま

す。ケルト文学を愛する私は、かねてから広い丘陵にリングの樹が繁茂し、赤い実をつけた光景を心に描き憶れていました。初めてこの光景に接したのは一九七〇年秋、仙台に赴任した時でした。津軽のたわわに実ったリングの果実の海を見たときの感動は今でも忘れられません。

ケルトの英雄アーサー王が戦に敗れ傷ついて湖畔にたどりついた時、妖精の国の女王マリオンによって助けられ、共に愛と不老不死の島、リングが繁茂するトールの丘に渡り、永久の命を保つたと語られています。

アイルランドでは、リングの木片をお守りとして身につけると、想いを寄せる人ができるといわれています。そして何よりも「アップル・オブ・マイ・アイ」の恋の慣用語をご存知の方が多いと思います。

会長就任に当たって

元町七丁目町内会

会長 小林 一三

五代目会長として大役を仰せ付けられ、皆様のご協力が得られればと就任いたしました。

町内会も設立十七年目を迎え、高齢者のみの世帯数も増え、一方、小学校児童は五〇人弱と減少している町内に活力を保ち、いつも明るく笑い声が聞こえる町と、緑あふれる住みよい町への環境維持体制をいかにして作り上げていくかなど、大きな課題となっております。

これらの課題克服に向け、皆様からご意見ご要望をいただき、一人ひとりとコミュニケーションを大切に、より充実した「輪と和」を作り上げて行くため、今後いっそうのご協力をお願い致します。

暇人の趣味

「読書と温泉巡り」

地蔵田二丁目町内会

会長 高橋 信男

定年退職後、暇潰しに始めた読書と温泉巡り、飽きずに続けているところを見ると趣味と言えるのでは。ノルマもなく、のんびりと楽しく、解放された気分になり、夢中で読み漁り通った結果、読書二〇八冊と温泉入浴一三四日の年もあった。現在

は仕事の都合で大分機会が減った。

理想は小原庄助さんですが、懐が許さず。買う本は文庫本のみ、それ以外は図書館で調達。温泉は日帰りにて道楽防止。文庫本をもって温泉へ、湯上りに広間で読む。実に楽しい、うきうきする。読書は乱読だが、何が得られたと自己満足している。

最後に、珍しい温泉（モール泉）を紹介します。色はコーヒイ色で、すべすべの肌感。臭いはブラックコーヒイの香ばしき、癖になる温泉です。ホテルサンルラル大潟の展望湯です。もっと濃いのがお望みの方は東北温泉（青森県）へどうぞ。

新米「町内会長」独白

地蔵田四丁目北町内会

会長 後藤 欣二

五〇年ぶりに秋田に帰って御所野に住みつき、始めたことは「地蔵田遺跡復元ボランティアへの参画」と「まちづくり協会の防犯パトロール活動」そして「卓球を通じた児童室への若干の手伝い」などでした。

それ以来七年余り、今年は間違いなく敬老会の仲間入りです。療養のため勇退された毛利前会長の後任としてよもやの新

米町内会長になり、残任期間を引き継ぐことになりました。

地蔵田四丁目北町内会は、小学校児童数五十四名が示すように若い現役世代の多い町です。しかし、引き受けた以上はまず後継者を早く見つけること、地域諸団体との連携を心掛け、先人の敷いてくれたレールを着実に踏襲すること、などが肝要かと思っているところです。

最後は私事にわたりませんが、縁あって昨年御所野に墓所を求め、そのことによりこの町を「終の住処」とする気持ちが増えます。今後ともよろしくご交誼下さいますようお願い致します。

☆御所野豆知識☆

御所野に残る

京野 進

徳川家康が江戸幕府開設以来、交通路はすべて江戸を中心にして作られ、主要道路は、東海道・中山道・甲州街道・日光街道・奥羽街道の五街道で、その他の街道は脇街道・脇往還とされた。

羽州街道は、仙台領の福島県桑折で奥羽街道と分かれ、津軽領（青森市油川）に至る脇街道の位置づけであった。桑折から始まった羽州街道

は、新庄藩から院内杉峠（雄勝峠）を越えて秋田領内に入った。そこからは横堀、湯沢、横手と国道13号線とほぼ同じルートであったが、秋田入り直前の和田でルートを西に変え、豊成橋（岩見川）を渡り、御所野地内に進んだ。変電所前には、往時を偲ぶ松並木が散見される。

さらに進んだ御所野元町四丁目の八幡山神社前の佐々木氏宅地内には「庚申塔」が安置されている。そして、横山で再び国道13号線と合流する。

羽州街道は佐竹の殿様の参勤交代の道路であり、佐竹氏の二百六十数年及び領内統治の中で、秋田藩の大動脈として幾多の変遷を遂げながら、国道13号線の原形となり今日に至っている。

御所野夏まつりの御礼

8月7日に開催された御所野夏まつりは、多くの住民の参加を得て、滞りなく盛大に終えることができました。それにより、地域の絆が一層強まったものと思います。

協賛いただいた各企業様、イベントに参加いただいた方々、実行委員及び当日要員の方々、皆様のご協力のお陰と感謝申し上げます。